



2021年8月4日

世界食料デー大会実行委員会御中

2020年度「世界食料デー」のご報告

拝啓

世界に広がる飢餓・貧困問題の解決を願って、日本の国内で私たちに何が出来るかを考え、共に実践していくために、昨年も「世界食料デー大会」に取り組んで下さいましたことを心より感謝申し上げます。今年と同様、コロナ禍にあった昨年は、各大会において何度も何度も検討を重ねていただき、あらゆる工夫を行っていただきながらご実施いただきました。その結果、昨年の世界食料デー募金総額は目標の1500万円を大きく上回り、2000万円近い額となりました。皆様のお取り組みに心より感謝いたします。誠にありがとうございました。

2020年度の世界食料デー募金は、アフリカの5カ国での地域リーダー育成、農業支援等の働きに用いさせていただきました。詳細につきましては、報告書を添付させて頂きましたのでご参照下さい。

今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。

2020年度世界食料デー募金総額 19,782,149円	横浜大会募金額 521,487円
---------------------------------	---------------------

ここに、心からの感謝をもってご報告させていただきます。

敬具

ハンガーゼロ（一般財団法人日本国際飢餓対策機構）

理事長 清家 弘久

世界食料デー事務局（東京事務所内） 近藤 高史・中村 めぐみ

大阪 〒581-0032 八尾市弓削町 3-74-1 TEL(072)920-2225 FAX(072)920-2155
東京 〒101-0062 千代田区神田駿河台 2-1OCCビル 517号室 TEL(03)3518-0781 FAX(03)3518-0782
愛知 〒460-0004 名古屋市中区新栄町2-3名古屋YWCAビル6F TEL(052)265-7101 FAX(052)265-7132
沖縄 〒900-0033 那覇市久米 2-25-8 メゾン久米 202号 TEL(098)943-9215 FAX(098)943-9216



2020年度世界食料デー募金使途

収入金額		支出金額		
2020年度 世界食料デー 募金総額 (*1)	¥19,782,149	募金 送付	コンゴ民主共和国 地域リーダー育成、農業支援	¥8,270,000
			ルワンダ 小規模農家への持続可能な農業支援	¥3,070,000
			エチオピア エイズ孤児などへの食料支援	¥3,040,000
			ケニア 食生活安定のための農業支援	¥2,720,000
			南スーダン 学校給食支援	¥930,000
			事務経費(講演者旅費・教材作成費等)	¥430,220
			チラシなど印刷関係費用	¥1,321,929

(*1) 世界食料デー各大会募金額とその他世界食料デー指定募金合計

2021年8月3日

上記のとおり報告いたします



一般財団法人 日本国際飢餓対策機構
〒581-0032 大阪府八尾市弓削町 3-74-1
TEL: 072-920-2225 FAX: 072-920-2155

世界食料デー事務局 近藤 高史



大阪 〒581-0032 八尾市弓削町 3-74-1 TEL(072)920-2225 FAX(072)920-2155
 東京 〒101-0062 千代田区神田駿河台 2-1OCC ビル 517 号室 TEL(03)3518-0781 FAX(03)3518-0782
 愛知 〒460-0004 名古屋市中区新栄町2-3名古屋YWCAビル6F TEL(052)265-7101 FAX(052)265-7132
 沖縄 〒900-0033 那覇市久米 2-25-8 メゾン久米 202 号 TEL(098)943-9215 FAX(098)943-9216



世界食料デー2020 募金使途報告

コンゴ民主共和国（地域リーダー育成、農業支援）

ハンガーゼロは、現地パートナー：ハンズ・オブ・ラブ・コンゴ（HOLC）と協力して、上カタンガ州プウェト地区の6つの村で、元国内避難民と村人の共同農園の取り組みを支援しています。

新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐために、管轄の地方自治体から厳しい規制がかけられましたが、その内容は、大勢で一緒に作業をしてはいけない、ソーシャルディスタンスを守る、マスクを着用するなど、日々農作業に従事する住民の日常とはかけ離れたものでした。そのため、それを守りつつこれまでのように農作業を続けることは、プウェトの住民にとって大変な困難を伴いました。また、行政による維持管理の欠如と大量の降雨により小さな橋が流されてしまい、農園まで通うのにも困難が伴うようになりました。

そんな中、柔軟な考え方をし、勇気を持って黙々と責任を果たしている住民リーダーの姿に触発され、プロジェクトに参加している住民達も懸命に農作業を継続し、6つの村合計で約26,000坪の農地でピーナッツやとうもろこし等を栽培し、自分達の手で生活を維持しました。



ルワンダ共和国（小規模農家への持続可能な農業支援）

ハンガーゼロは、現地パートナー：FH ルワンダと協力して、東部州ニャギハンガ地区で小規模農家100戸を対象に、土壌を改善して収量を上げる持続可能な農業プロジェクトを推進してきました。

大阪 〒581-0032 八尾市弓削町 3-74-1

TEL(072)920-2225 FAX(072)920-2155

東京 〒101-0062 千代田区神田駿河台 2-1OCCビル 517号室

TEL(03)3518-0781 FAX(03)3518-0782

愛知 〒460-0004 名古屋市中区新栄町2-3名古屋YWCAビル6F

TEL(052)265-7101 FAX(052)265-7132

沖縄 〒900-0033 那覇市久米 2-25-8 メゾン久米 202号

TEL(098)943-9215 FAX(098)943-9216



新型コロナウイルスの影響で、トレーニングや貯蓄グループ活動など人が集まる活動が制限され、予定していた活動に多少の遅れが生じたものの、農業活動はほぼ予定通りに進められ、主食のメイズは予想を大幅に上回る収穫を得ることができました。プロジェクトの参加者は各自 700 キロのメイズを持ち帰り、家庭で消費すると共に来シーズンのために種を採る作業をしました。プロジェクトに参加したことで、意識が変革され将来に希望を持つようになった参加者達は全員、自主的に家庭菜園を作り主食以外の野菜も育てるようになりました。



エチオピア連邦民主共和国（エイズ孤児などへの食料支援）

ハンガーゼロは、現地パートナー：FH エチオピアと協力して、アムハラ州南ゴンダール地区の3つの村で、エイズ孤児や危機的な状況に置かれている子ども達とその保護者を対象に、食料、教育、生計、女性のエンパワメントなど明るい未来を拓くための総合的な支援を実施しています。

プロジェクトも最終段階に進んできたため、参加者が資源の適切な管理を学ぶことができるように、食料支援の方法を食料配給から現金給付に変更しました。対象の1318人の子ども達1人につき毎月330ブル（約840円）の現金を、銀行のシステムを使って保護者に渡しています。調査によると支給された現金の90%が食料関係の購入に用いられています。



大阪 〒581-0032 八尾市弓削町 3-74-1

TEL(072)920-2225 FAX(072)920-2155

東京 〒101-0062 千代田区神田駿河台 2-1OCCビル 517号室

TEL(03)3518-0781 FAX(03)3518-0782

愛知 〒460-0004 名古屋市中区新栄町2-3名古屋YWCAビル6F

TEL(052)265-7101 FAX(052)265-7132

沖縄 〒900-0033 那覇市久米 2-25-8 メゾン久米 202号

TEL(098)943-9215 FAX(098)943-9216



南スーダン共和国（学校給食支援）

ハンガーゼロは、現地パートナー：ライフ・イン・アバンドランス（LIA）と協力して、レイク州ルンベックのマブイ小学校で学校給食支援を実施しています。

新型コロナウイルスの影響で 2020 年 3 月から学校が閉鎖され、子ども達はラジオを通して勉強をしていましたが、2020 年 10 月に 8 年生を対象に一部開校されました。しかしながら、給食の再開は難しく、代わりに生徒 450 人の家庭を対象に食料配給を実施しました。マブイ小学校に登録している生徒 1 人に対して主食となるソルガム 10 キロ、調理油 5 リットルを配給しました。



ケニア共和国（食生活安定のための農業支援）

ハンガーゼロは、現地パートナー：FH ケニアと協力して、メルー州、ブウリ地区のカイルニ小学校で学校農園プロジェクトを実施しています。

地球温暖化の影響で農作物の収穫量が安定せず、地域の農家は食料の安定確保が極めて困難となっていました。そこへカイルニ小学校から、生徒の栄養状態を改善するために学校農園を設立して給食を充実させたいと、土地提供の申し出がありました。水の確保に問題がなかったため、ケニア政府が推進している気候変動対応保全農業（CSCA）を取り入れたモデル農園をカイルニ小学校に設立し、地域の農家がそこに来て学ぶ機会を提供するという計画が立てられました。

農園は設立そのものよりも、その後の維持管理の方がはるかに重要なため、最初の 3 ヶ月を掛けて、責任者となるリーダー達の組織形成を丁寧に行いました。政府の農業普及員の協力

大阪 〒581-0032 八尾市弓削町 3-74-1

TEL(072)920-2225 FAX(072)920-2155

東京 〒101-0062 千代田区神田駿河台 2-1OCC ビル 517 号室

TEL(03)3518-0781 FAX(03)3518-0782

愛知 〒460-0004 名古屋市中区新栄町2-3名古屋YWCAビル6F

TEL(052)265-7101 FAX(052)265-7132

沖縄 〒900-0033 那覇市久米 2-25-8 メゾン久米 202 号

TEL(098)943-9215 FAX(098)943-9216

ハンガーゼロ Hunger Zero

もあり、リーダー達は農園のビジョンをしっかりと持つことができるようになりました。

その後、実際の農園作りに着手し、囲いの設置、水源から水を引くためのパイプの設置、貯水池の造成、苗床作り、果樹や樹木の植樹などの活動を行いました。学校農園委員達はナマズの養殖のトレーニングを受講し、造成した魚の養殖池にナマズの幼魚を入れました。トマト、玉ねぎなどの高価値作物の定植を進める一方、ケール、ほうれん草、唐辛子など様々な作物を植え付け、土地の生育環境に合う作物を見極めるための実験をしています。学校農園が軌道に乗れば、保護者達が学校給食に必要な食材を提供する義務を果たせるようになることが期待されています。



大阪 〒581-0032 八尾市弓削町 3-74-1

TEL(072)920-2225 FAX(072)920-2155

東京 〒101-0062 千代田区神田駿河台 2-1OCCビル 517号室

TEL(03)3518-0781 FAX(03)3518-0782

愛知 〒460-0004 名古屋市中区新栄町2-3名古屋YWCAビル6F

TEL(052)265-7101 FAX(052)265-7132

沖縄 〒900-0033 那覇市久米 2-25-8 メゾン久米 202号

TEL(098)943-9215 FAX(098)943-9216